

DREAMING No.3

令和6年5月8日
長崎市立福田小学校
学校だより
校長 寺田 成広

心を満たし、夢や願いを叶える学校 ～見つめよう 認めよう～

大型連休が終わって

連休明けの7日朝に、校門付近で子どもたちの登校を迎えました。月初めということで、福田サポーターあいさつ隊の皆さんも立っていただきました。いつものように朝の挨拶やジャンケンをしながら、「連休はどう過ごした?」、「休みが長くて疲れていない?」などの言葉を掛けました。



子どもたちからは、「〇〇に行きました。」、「ゆっくり休みました。」、「クラブの試合に2日出かけました。」などの答えが返ってきました。新学期スタートから1か月が過ぎ、程よい小休止になったようです。

当然ながら「何かきついです。」や、「ちょっと眠たいです。」と答える子もいました。学校はこれから本格的な学習と運動会練習に入るので、子どもたちの様子に注意しながら、休みモードからの切り替えを進めていきます。

ご家庭でも引き続き、体調の観察と安定した生活習慣への言葉掛けをお願いします。

育友会総会でお話したこと

4月26日(金)の授業参観、育友会総会、懇談会には、多くの保護者の皆様にご来校いただき有難く思っております。特に今年度初めての授業参観では、進級してより頑張っている姿を見せるべく子どもたちが張り切ったようで、あらためて大好きな家族に認めてもらいたい気持ちは大きいのだと実感しました。(人の基本的欲求その3「愛情の欲求」その4「承認の欲求」)

さて、育友会総会では時間をつくっていただいたので、今年度の学校の方向性等について話をしました。以下に内容の概略を記載します。

- 福田小・福田地区の印象:子どもたちは健やかに育っている 地域性が高い
- 目指す学校の姿:「しっとりと落ち着いた学校」 しっとりと落ち着くとは、人の基本的欲求が満たされた状態を指す(基本的欲求は、生存の欲求、安全安心の欲求、所属・愛情の欲求、承認の欲求、自己実現の欲求の五つ)
- 福田小の良き伝統である「夢や願い」を叶えるためには、これらの欲求を満たしてこそ実現する
⇒本年度の学校教育目標を、「心を満たし、『夢や願い』をかなえる学校」とした
- 学校は相談に誠意をもって迅速に対応する:子どもにとってよりよい教育環境を整えるための意志疎通を図る⇒気になることは遠慮なく連絡してほしい
- 学力向上を目指す:学力調査は「夢や願いの実現」に必要な学力を測っている 学習に向かう構えや家庭学習の定着のために「福田っ子スタンダード」を、語彙を広げるために「辞書引き」を継続する。⇒保護者の立場から子どもたちへの励ましと支援をお願いする
- いっそうの働き方改革への理解:子どもに向き合う時間の確保、教員の成り手不足解消、中途での退職者の減少のため⇒午前中5時間授業、通知表の所見年1回、フレックスタイムの導入
- メディア機器との関わり方:PCの毎日の持ち帰り⇒持ち帰った際の支援、キュビナの有償化の理解
:スマホ、ゲーム機、オンラインゲーム等の約束事の徹底
- 地域の方々の子どもたちや学校への愛情:学校運営にさらに取り入れていく
- あはは運動の推進:基本的な生活習慣定着のための長崎市の運動(あ:あいさつへんじ元気よく は:早寝早起き朝ごはん は:履物そろえいい気持ち)⇒どれもできている学校、家庭を目指して言葉を掛ける

